

広島市歯科医師会だより



1 月号

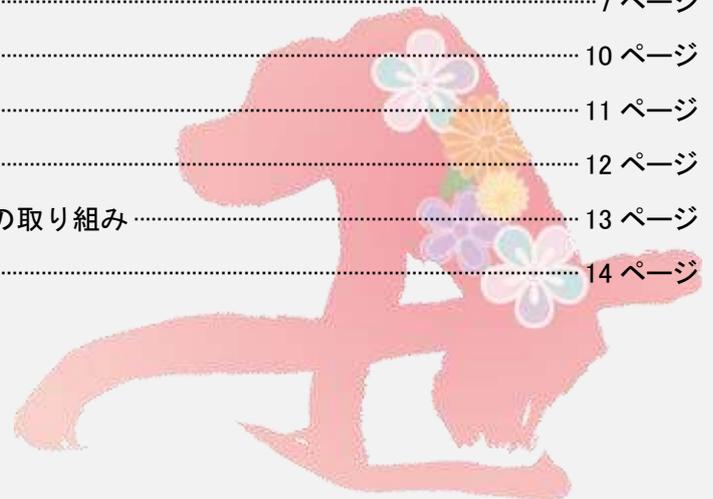
Hiroshima City Dental Association

No.165 (R3.1.21)



目 次

「広島市の歯科診療所における口腔外バキューム整備促進事業」について	1 ページ
行事報告	
故 土江健也先生、叙位・叙勲の榮譽に浴さる	1 ページ
第 5 回 支部長・副支部長会議	2 ページ
退任学校歯科医、保育園嘱託歯科医、学校歯科嘱託医への感謝状贈呈	2 ページ
歯科保健資料寄贈に対する感謝状贈呈式	3 ページ
支部だより	
中区支部	3 ページ
東区支部	4 ページ
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起っていますー(総務部)	5 ページ
学校歯科健診での新型コロナウイルス感染症対策に関するアンケート調査結果(地域歯科保健部)	6 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	7 ページ
誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部)	10 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	11 ページ
会長コラム『柔しく剛く』 新年互礼会について	12 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	13 ページ
12 月定例理事会報告	14 ページ



「広島市の歯科診療所における 口腔外バキューム整備促進事業」について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的に、広島市歯科医師会が広島市からの補助金を受けて実施主体となり、令和2年9月より広島市歯科医療機関を対象に実施した「口腔外バキューム整備促進事業」は、昨年12月21日に申請の受付を締め切りました。広島市内の歯科医療機関より411件の申込があり、助成金交付見込額は、当初予算の1億3,940万円を大幅に超える1億7,800万円余となりました。(広島市より超過分の予算を増額していただきました)

口腔外バキュームを整備することにより、市民が安心して歯科診療所を受診できる院内感染防止対策の強化につながったものと思います。

なお、申請のみで、設置がまだの歯科医療機関におかれましては、設置終了後、速やかに「実施報告書兼請求書(様式2)及び関係書類一式を提出いただきますようお願いいたします。

(報告書の締切は令和3年3月29日必着です)

行事報告

故 土江健也先生、叙位・叙勲の榮譽に浴さる

日時：12月15日(火)午後3時

場所：県歯会館6階「応接室」

元本会会長、故土江健也先生がこの度、旭日双光章及び正六位の榮譽に浴され、広島県歯科医師会応接室にて伝達式が執り行われました。いうまでもなく、生前、本会会長はじめ要職を歴任され、広島における歯科医療界の発展と県民の健康と福祉の向上にご尽力されたことが評価されたものです。

伝達式には土江先生の令夫人、甲野峰基県歯会会長、熊谷宏本会会長が参列し、広島県健康福祉局担当者より、土江令夫人に旭日双光章及び正六位の「位記」などが授与されました。



(左) 伝達式の様子

(右) 左から熊谷宏本会会長、故土江健也先生の令夫人、甲野峰基県歯会会長

第5回 支部長・副支部長会議

日時：12月16日(水)午後7時30分

場所：書面会議

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席して開催予定の表記会議が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、書面会議となった。

報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

- 10月14日 吉島地域包括支援センター介護予防教室
- 10月21日 第4回支部長・副支部長会
- 11月12日 中区支部長・副支部長 Zoom 会談
- 12月14日 吉島圏域多職種連携会議小委員会

東区支部

- 10月9日 在宅医療研修会
- 10月15日 東区地域包括支援センター運営協議会・地域ケア会議
- 10月19日 フェイスネット講習会
- 10月21日 第4回支部長・副支部長会
- 11月5日 若年性認知症研修会
- 11月6日 地域保健対策協議会・第9回在宅医療・介護連携推進事業企画会議
- 11月30日 救急蘇生講習会

南区支部

- 10月21日 第4回支部長・副支部長会

西区支部

- 10月21日 第4回支部長・副支部長会
- 10月31日 梅田明先生診療所廃院(梅田歯科医院)
- 11月12日 令和2年度在宅医療・介護連携
西区地域保健対策協議会講演会
- 11月26日 庚午地域第8回医療と介護の連携会議
(Zoom)

協議

①中区

- ・Web講習会等設定のお知らせの要望
- ・ウィズコロナにおける支部会、班会のあり方について

②執行部

- ・今後の新型コロナウイルス感染症対策について

退任学校歯科医、保育園嘱託歯科医、 学校歯科嘱託医への感謝状贈呈

本会では広島市立学校の学校歯科医及び広島市立保育園嘱託歯科医に対して退任時に感謝状の贈呈を行ってきた。加えて、会員からの提案を受けて昨年2月の理事会で検討し、本会の全員校医制に基づく学校歯科嘱託医についても同様の制度を創設した。

以上により、本年度の学校歯科医協議会において、106

名の会員に感謝状を贈呈する式典を開催することを決めていた。しかし、新型コロナウイルス感染症対策として学校歯科医協議会開催を中止したこと、今般の同感染症第3波により代表者のみの出席による式典開催の目処も立たなくなったことから、郵送に代替して感謝状及び記念品贈呈を実施した。

歯科保健資料寄贈に対する感謝状贈呈式

日時：12月23日(水)午後5時30分

場所：広島市役所北庁舎6階「教育委員室」

本会は、新型コロナウイルス感染症を念頭に置いた学校歯科保健を推進する際の参考資料として「ふしぎ・ふしぎ噛むことと健康 第57話 ウィズコロナは4つの愛(i)で乗り越えよう！」と題する冊子を作成し(岡崎好秀国立モンゴル医科大学歯学部客員教授及び株式会社松風様のご好意による)、全ての広島市立学校に寄贈した。

これに対し、糸山隆広島市教育長より本会に感謝状が贈呈され、熊谷宏本会会長が受領した。

この感謝状贈呈式には、糸山教育長、本会より熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、有馬隆理事が出席した。



(左)糸山隆広島市教育長より感謝状贈呈(右)贈呈式の参加者

支部だより 中区支部

令和2年度 中区支部幹部臨時役員会

日時：12月22日(火)午後8時

場所：Zoom

Zoomを用いて標記会が開催された。新型コロナウイルス感染が日々深刻さを増す状況において、以前支部長・副支部長会談で、Zoomの有効性を確認できたため、中区支部の幹部役員会に拡大して行った。波田佳範支部長がホストを務め、幹部役員がゲストという設定で行われたものであった。

香川次郎副支部長の司会進行の下、波田支部長より今回Zoomを用いた会議開催の経緯の説明があり、報告事項へと移行した。報告事項は、12月12日(土)に事務局より送られてきたファックス(市民からの苦情・情報提供)の内容について、支部長より詳細な説明が付け加えられた。

協議事項は、このコロナ禍において外出もままならない状況下で、中区支部をどのように運営していくのか、また

令和2年度の事業報告、予算報告。令和3年度の事業(案)、予算(案)の取り扱いについて、途中音声が途切れながらも議論が交わされた。そして今後も Zoom を用いた会議を行う事に、幹部役員の意見が一致した。

なお、この会議には波田佳範支部長をはじめ、香川次郎副支部長、有田一喜氏、尾山奈々子氏、小松大造氏、橋本佳子氏、花木清隆氏、平田誠氏、前田羊一氏が出務した。



Zoomの様子

東区支部

救急蘇生講習会

日時：11月30日(月)午後7時

場所：JR広島病院3階「大会議室」

東区救急蘇生講習会が標記の場所で開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会、医療法人 JR広島病院で対象者は医師、歯科医師、薬剤師であり、計28名が参加した。岡本有三 JR広島病院診療部長・広島市東区医師会災害・救急委員会委員の司会により、金谷雄生広島市東区医師会会長・広島市東区地域保健対策協議会会長の挨拶で始まった。次に、寺川宏樹 JR広島病院循環器内科部長による講演「一次救命処置(BLS)を楽しく学びましょう～事業所における救命救急～」が行われた。質の高い心肺蘇生(CPR)として反応(意識)の確認、救急要請(人、AED)、呼吸の確認、質の高い胸骨圧迫、安全なAEDの使用について事例を交えた説明があった。あわせて病院用COVID-19対応救急蘇生法の要点がアルゴリズムでまとめられた。次に、救急蘇生の実技デモンストレーション

が行われ、CPRの手順や呼吸の確認、適切な胸骨圧迫の方法およびAEDの使用方法について確認した。質疑応答の後に岡本有三 JR広島病院診療部長・広島市東区医師会災害・救急委員会委員の総評で閉会した。

なお、東区支部より野村登志夫支部長、宮村健一氏が参加した。



講習会の様子

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起きています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：矯正の転院について

数年前から、子供が歯科矯正に通院している。夜だけ装置を装着していた。最初は1年くらいとの説明だったが、医師からの説明も少なく、毎月の矯正と歯磨き指導で数千円を払っている。歯科衛生士の友人から、普通は3～4ヶ月毎と言われ、他の矯正専門歯科に変わろうと思う。今の歯科医師にどう伝えたら良いだろうか。

(センターの対応)

矯正を受けてきた歯科医師に治療の見通しの説明を求め、納得できなければ転医を考えられてはどうかと伝えた。

(コメント)

矯正の場合は、ほとんどが自費治療であるため、特に十分な説明が求められます。治療期間、治療内容、今後の見通しなど十分な説明を心がけましょう。

事例2：外人の友達が診療を拒否されたので指導してほしい

日本で永住権も取得している外国人の友人がコロナの関係で外国人は診療できないと言われた。歯科医院に対して指導をしてほしい

(センター対応)

当センターには指導の権限はないので、歯科医師会へ報告するのが良いと思うと伝え、連絡先を教えた。

(コメント)

コロナ感染症を疑われる所見がない場合、外国人というだけで診療を拒否することは応召義務に反する可能性

があります。正当な理由がある場合でも、患者さんが十分に納得するよう説明しましょう。

事例3：子供の診療に時間がかかった為、費用が高くなると言われ納得いかない

子供の歯がかけて、初めての歯科医院を受診したが、ものすごい怖がりなので治療に時間がかかった。「3倍時間がかかったので○円になる。次も時間がかかれば●円になる」と言われた。手間や時間がかかれば請求されるものなのか？

医療費が法外に高いので行政指導してほしい

(センター対応)

診療明細より、歯科診療特別対応加算・初診時歯科治療導入加算が該当するのではないかと伝えた。請求は納得されたが、言い方の苦情を話された。

(コメント)

号泣する小児などは治療に時間がかかったり、苦勞することもあります。説明するときの言い方によって誤解を招いたり、トラブルのもととなることがありますから十分注意しましょう。また、歯科診療特別対応加算などは算定要件がありますので、きちんと算定要件を確認してから算定しましょう。小児が号泣した場合において歯科診療特別対応加算を算定することは妥当ではありません。

学校歯科健診での新型コロナウイルス感染症対策に関するアンケート調査結果

県歯会の「新型コロナウイルス流行後の学校歯科健康診断における感染対策検討会議」は、本年度の学校歯科健診における新型コロナウイルス感染症対策の実態を把握し、「新型コロナウイルス流行後の学校歯科健康診断における感染対策の指針(以下、県歯会指針)」改訂を検討する際の資料とすることを目的として、アンケート調査を実施した。

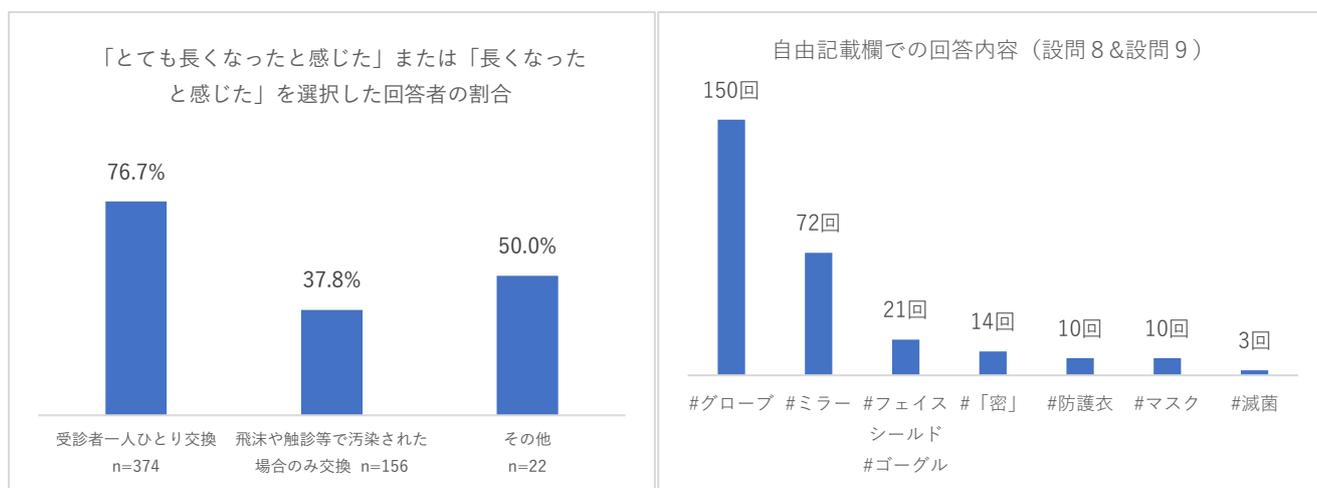
調査は Google フォームを使用して作成したアンケートに対して回答を求める方法で実施された。県歯会正会員 1,601 名(令和 2 年 12 月 8 日時点)のうち、メールアドレスの登録がある 1,266 名を対象とし、12 月 9 日に回答用のアドレスをメール配信(12 月 14 日再配信)し、12 月 21 日に回答受付を終了した。回答数は 585 件(回答率 46.2%)で、このうち今年度の学校歯科健診に出務した歯科医師 554 名を解析対象とした。

調査の結果、設問した感染対策(出務前の体調確認、手指衛生、呼吸器の保護、眼の保護、グローブの装着)について、回答者は概ね指針等に沿って歯科健診を実施したことが分かった。また、感染対策により健診所要時間の延長を明確に感じたという回答した会員の割合は 6 割を超えた。それはグローブを受診者一人ひとり交換した回答者で最も高かった(下左図)。自由記載欄では「グローブ」に言及する意見が最も多く、「ミラー」がこれに次いだ(下右図)。

県歯会指針初版は新型コロナウイルス感染症に対して有効な治療薬、ワクチンの目処が立たない中で世界的なパンデミックが進行する状況において、本県の学校歯科健診を一人の感染者、濃厚接触者も出すことなく実施するために、歯科疾患スクリーニングの効率性よりも「安全・安心」を優先に作成された。

指針が推奨した「受診者一人ひとり」のグローブの交換が忠実に実行された結果、多くの会員が健診所要時間の延長を明確に感じたことが判った。また、それによる負担感が学校歯科健診の意義や目的、達成感等を曖昧にする場合があることを窺うことができた。

同会議は、新型コロナウイルス感染症に対する理解がある程度進んだこと、不透明ではあるがワクチン接種が開始される見込みであることなどを背景として令和 3 年度をウィズコロナからアフターコロナへの学校歯科保健の移行期間と捉え、「安全・安心」と「効率性」双方の観点から、学校歯科健診における感染対策を総合的に見直すことが必要と考えている。



記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QR コード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼医師の働き方改革関連検討会が論点整理などを了承一次期通常国会に法案を提出



日本医事新報(2020年12月18日)

<https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=16114>

厚生労働省の「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」と、「医師の働き方改革の推進に関する検討会」は12月11日および14日に、それぞれ論点整理と中間とりまとめを大筋で了承した。いずれも社会保障審議会医療部会への報告を経て、2021年通常国会への法案提出に向けた作業に入る。

タスク・シフト/シェアの推進に関する検討会の論点整理は、医師の労働時間短縮のためにタスク・シフト/シェアを進めるべき業務を現行法下で可能な業務と、法改正が必要な業務に分けて整理。前者は即時に取り組み、後者は医師の時間外労働の上限規制が適用される24年度に向けて法改正や研修、カリキュラム改正を進めるとした。現行法で実施可能な業務では、▶検査や薬物療法の説明と同意、入院時のオリエンテーション、▶各種書類の下書き・作成、▶診察前の予診、▶患者の誘導などを職種に関係なく特に推進するものとして位置づけた。職種別業務で看護師については、特定行為(38行為21区分)に加え、事前に取り決めたプロトコルに沿って行う、▶予め特定された患者に対する医師が事前に指示した薬剤の投与や採血・検査、▶救急外来において、事前に医師が示した範囲内の患者に対する血液検査オーダー入力、採血、検査などを挙げた。

『参考』

厚生労働省 第7回医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15415.html

同 第11回医師の働き方改革の推進に関する検討会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15438.html

▼新型コロナウイルス感染拡大防止支援事業 —家賃や光熱費など日常業務の費用も申請可能【まとめてみました】



日本医事新報(2020年12月17日)

<https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=16110>

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、政府は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者受入病床を確保するための補助や、資金繰りを支援するための無利子・無担保の融資を行うなど、3兆円規模の財政措置を講じている。中でもすべての保険医療機関が「真水」で受け取ることができるのが、医療機関や薬局などが取り組む新型コロナウイルスの感染拡大防止策の費用を補助する「**医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業**」。本欄では、多くの都道府県で申請締め切りが迫っている同事業の**支援金**の概要を解説する。(以下上記リンク先参照)

▼平成 30 年度国民医療費で歯科は

2 兆 9,579 億円

日本歯科新聞 (2020 年 12 月 17 日)

http://www.dentalnews.co.jp/news/detail/2020/index.htm#1215_04

平成 30 年度国民医療費で、歯科診療医療費は 2 兆 9,579 億円と対前年度と比べて 576 億円、2.0%増え、同統計が歯科医療費を把握し始めた昭和 37 年度以降、過去最高となった。医療費総額は前年度より 3,239 億円、0.8%増の 43 兆 3,949 億円で、歯科の構成割合は前年度より 0.1 ポイント増の 6.8%だった。



『参考』

厚生労働省 平成 30 年度 国民医療費の概況

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/18/index.html>

結果の概要

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/18/dl/kekka.pdf>

ニュースピックアップ

▼歯の治療にも再生医療「歯生え薬」実用化目指す

日本経済新聞 2020 年 11 月 30 日

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO66792700Q0A131C2AM1000>

歯の治療を大きく変えそうな技術が関西から生まれている。京都大学発のスタートアップ、トレジウムバイオフィーマ(京都市)は、失った歯が再び生える「歯生え薬」の実現を目指す。

◎いよいよ「代生歯の代わりの歯」が自分の歯として活躍する日が来るのでしょうか。これまでの歯科は失われた部分を人工物で補う形ですが、これが根本的に塗り替わるかもしれません。(この記事は会員限定です。)



▼マスクの選び方は？ ウレタンは性能劣る

huffpost 2020 年 12 月 15 日

https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5fd6c3bec5b62f31c1fe4eb8

どの素材のマスクが、最も飛沫の飛散を防げる？布やウレタンで作られたマスクに比べて、不織布マスクの方が、飛沫の飛散を抑える効果が高い傾向にあることが、国立研究開発法人「理化学研究所」(理研)によるスーパーコンピューター「富岳」を使ったシミュレーション結果で分かった。

◎吐き出しの飛沫量は、不織布マスクは 80%、布マスクは 66%~82%が抑制され、吸い込み飛沫量では、不織布マスクの場合はマスクと顔に隙間がある場合でも飛沫量を 3 分の 1 ほどにできるということです。詳しいデータはリンク先を参照ください。マスクとフェイスシールド両方で防護するというのは、やはり理にかなっているといえそうです。



▼「感染しにくい人」秘密は“手の汗の成分”

テレ朝 news 2020 年 12 月 14 日

https://news.tv-asahi.co.jp/news_economy/articles/000201235.html

手の汗の成分にウイルスや菌から体を守るバリア機能が見つかりました。花王によりますと、感染症に「かかりやすい人」



と「かかりにくい人」の手に大腸菌を付着させ、3 分後に比較したところ、かかりにくい人の手に付いた大腸菌はほとんど消えていました。

◎コロナウイルス禍の昨今ですが、今度は手の汗ですか。大変興味深い研究ですね。今後注目です。

▼コロナ死亡率、男性は女性の1.4倍…免疫力の差が影響か

Yomi Dr. 2020 年 12 月 12 日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20201212-OYT1T50290/?catname=news-kaisetsu_news

新型コロナウイルスに感染すると、男性は女性より重症化しやすく、死亡する確率が1.4倍高いとする分析結果を、南アフリカのケープタウン大などの国際研究チームが発表した。論文が英科学誌ネイチャー・コミュニケーションズに掲載された。

◎女性と男性で免疫の働き方に違いがあるのか？興味深い結果です。これからも新型コロナウイルス感染症と付き合っていかなければならない我々としては、重症化を防ぐ手立てを色々な角度から研究されることを期待します。



▼インフルエンザ 例年より大幅に少ない状況続く

NHK NEWS WEB 2020 年 12 月 11 日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201211/k10012760011000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_016

新型コロナウイルスとの同時流行が懸念されているインフルエンザについて、12 月 6 日までの 1 週間に報告された患者の数は全国で 63 人で例年より大幅に少ない状況が続いています。

◎国立感染症研究所などによると、毎年この時期には数千人から数万人の報告があるということですが、例年より大幅に少ない状態が続いているようです。新型コロナウイルスの感染対策がインフルエンザの流行防止に奏功したのではないかと考えられます。



▼軽症でホテル療養中死亡 死因はコロナによる急性気管支肺炎

NHK NEWS WEB 2020年12月12日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201212/k10012761201000.html?utm_int=news-new_contents_list-items_048

新型コロナウイルスに感染し、神奈川県が用意したホテルで療養中に死亡した50代の男性について、県は、死因は新型コロナウイルスによる急性気管支肺炎だったと発表しました。神奈川県では、新型コロナウイルスに感染し、今年9月から県が用意したホテルで療養していた50代の男性が11日、死亡しました。

◎気管支炎が急に悪化して死亡とは、考えるだけでも恐ろしい事です。広島も感染者が増加していて他人事ではありません。自分自身ももちろん感染しないように、家族や周りの人間に感染させないように今一度気を引き締めましょう。



▼超低温輸送で苦戦、「証明書」発行に議論 英のワクチン接種1週間

産経ニュース 2020年12月15日

<https://www.sankei.com/life/news/201215/lif2012150050-n1.html>

英国で米製薬大手ファイザーなどが開発した新型コロナウイルスのワクチン接種が始まってから15日で1週間がたった。数万人に投与されたが、接種を受けた2人がアレルギー反応を起こしたことからワクチンを望まない国民も増えている。

◎ワクチン接種が始まった英国での1週間を迫った記事になっています。英政府はワクチン推奨のため、接種の有無を示す証明書を発行し、非接種の人の行動制限するのではないかと憶測があり、これに対する批判が集まっています。日本はワクチン接種が始まった時、どのようになっていくのでしょうか。



▼妊婦の感染経路、家庭内が6割…産婦人科医会「家族も対策徹底を」

Yomi Dr. 2020年12月16日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20201216-OYT1T50145/?catname=news-kaisetsu_news

日本産婦人科医会は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、妊婦向けに予防のための緊急メッセージを発表した。同医会の調査で、妊婦の感染経路は家庭内が6割と最も多かった。同居する家族の感染対策の徹底を呼びかけている。

◎妊婦の感染は母体だけではなく胎児にもどのような影響があるかわからないので、より注意が必要です。家族内での感染対策は部屋の大きさや環境など様々な点において外での感染対策よりも難しいですが、これからは家の中でもマスクが必要なかもしれませんね。



▼発熱患者の診療や検査を行う医療機関に最大100万円助成へ 厚生労働省

NHK NEWS WEB 2020年12月9日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201209/k10012753761000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_002

新型コロナウイルスの影響で、医療機関の経営状況が悪化していることを受けて、厚生労働省は、感染が疑われる発



熱患者の診療や検査を行う指定の医療機関に対し、最大で100万円を助成することなどを盛り込んだ支援策をまとめました。

◎新型コロナウイルスへの感染が疑われる発熱患者の診療や検査を行っている医療機関に対し、消毒や動線を分けるなどの対策を講じた経費を支援するため、最大100万円を助成するようです。これは歯科医院には適用されるのでしょうか。今後の動きに注目する必要があります。

▼国産初の手術支援ロボ、初手術を成功 前立腺がんを摘出

神戸新聞 NEXT 2020年12月14日

<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202012/0013937697.shtml>

神戸大病院は14日、川崎重工業と医療検査機器・試薬メーカー「シスメックス」の共同出資会社である「メディカロイド」＝いずれも神戸市中央区＝が開発した国産初の手術支援ロボット「hinotori(ヒノトリ)」を使った初めての手術を実施し、成功したと発表した。ロボ開発にも携わった執刀医の藤澤正人・同大学院医学研究科長(60)は記者会見で「大きなトラブルもなく百点満点と言っていい。新たな医療機器として社会実装(実用化)できたことに感無量だ」と語った。

◎ロボットによる遠隔手術、人工知能AIによる完全無人手術など、感染症対策の面からも夢が広がります。そのうち我々の職業もロボットにとって代わるのかもしれないね。



▼新型コロナ対策 特養ホームに陰圧室整備 栃木県茂木町

産経ニュース 2020年12月4日

<https://www.sankei.com/life/news/201204/lif2012040041-n1.html>

社会福祉法人「茂木福寿会」が運営する特別養護老人ホーム「ききょうの里」(栃木県茂木町)は、施設内の新型コロナウイルス感染拡大防止のためウイルスを室外に漏らさないようにする「陰圧室」を整備した。感染発生時を想定し、医療用カーテンで通路を区切るなどしたゾーニングも実施。

◎陰圧室は室内の空気圧を外部よりも低くすることでウイルスの拡散を防ぐ部屋で、感染患者の隔離などに役立ちます。また、同施設では、コロナ第2波を想定して7月頃から整備を計画してきたそうです。各業界、コロナに対し様々な対策をしているようです。



▼はやぶさ2のカプセルから「黒い粒子」…小惑星の試料持ち帰りに成功

yomiDr 2020年12月14日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20201214-OYT1T50164/?catname=news-kaisetsu_news

日本の小惑星探査機「はやぶさ2」が地球に届けたカプセルから、探査した小惑星リュウグウのものと思われる黒い粒子が見つかった。関係者が明らかにした。小惑星から地球に試料を持ち帰ることに成功したのは、2010年に帰還した初代はやぶさに続き2度目。

◎連日「コロナ・ころな」のニュースで埋め尽くされている昨今。ふとこういう記事に触れると、砂漠でオアシスに出会ったような気になります。これからもロマンあふれる宇宙計画を進めてほしいところです。



広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

～第15回～ エエガニってなんだ??

二葉里志さんは今でこそ広島市内で開業する歯科医ですが、かつては広島歯科大学で歯科補綴学を専攻する研究者でもありました。この時期の二葉さんはどちらかというと診療よりも実験に軸足を置いており、歯科補綴学研究室の実験室が主な生息場所だったのです。

歯科補綴学で二葉さんの3学年後輩になる M さんは生まれも育ちも広島市内、両親とも広島市内出身という生粋の広島弁ネイティブスピーカーです。そんなこともあって M さんは広島弁と標準語の区別がつかないことも多いようです。特に目上の人と接する際には緊張するのか、はたまた標準語の敬語を知らないのか、広島弁が強くなる傾向があるようです。M さんは歯科医としても研究者としても二葉さんのことを尊敬しており、どんな些細なことでも二葉さんの指示ならば二つ返事で引き受けるのです。

二葉さんは実験が上手いかわからないのか、ガスクロマトグラフィーの前で腕組みしながら虚空を見つめています。M さんは二葉さんを気にかけて声を掛けました。「エエガニイキヨリマスカ?」と。ところが二葉さんの返答に M さんは愕然とするのです。「最近では TSUTAYA で DVD を借りるぐらいで、長いこと映画館には行ってないなあ..」(笑)。

広島県内では「物事が上手いく」意味合いで、「映画に行く」とほぼ同じ発音、というよりも「エーガニク」と全く同じ発音で「エエガニク」を連発します。語源というか、こう発音する由来は「いい具合に」→「ええぐあいに」→「ええがぁに」→「エエガニ」と変化したものと推察します。M 先生の「エエガニイキヨリマスカ?」は尊敬語的ニュアンスを含んだ広島弁で、標準語でいう「いい具合にっていますか?」に相当すると思われます。M さんは「エエガニク」が通じなかったことにショックを受けましたが、その夜、所用にて実家に電話すると母親が「アンタァ、エエガニヤリヨルンネ?」と言うので、電話口で吹き出してしまいました(笑)。



※本エピソードは筆者の大学院生時代の経験に基づいています。

※参考文献 「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

1月6日放送分

「歯と歯の間の歯磨き」

広島市歯科医師会 横村 康彦氏

実は歯磨きは歯ブラシだけでは足りません。歯と歯の間には、歯ブラシだけでは取れない汚れが残っています。虫歯や歯周病を予防するためには、歯と歯の間の汚れもきれいにしないといけません。デンタルフロスや歯間ブラシなど専用の道具を使って、虫歯や歯周病を予防しましょう。歯科医師の横村康彦さんが解説します。

1月17日放送分

「歯のホワイトニング」

広島市歯科医師会 高橋 由佳氏

歯を白くしたいと思っている方は、多いですね。今回は歯のホワイトニングのお話をします。ホワイトニングをすると憧れの白い歯になれますが、治療前に知っておきたいポイントがあります。歯科医院でするオフィスホワイトニングと、自宅でするホームホワイトニングについて、歯科医師の高橋由佳さんが解説します。



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください

チャンネル登録をお願いします

11月4日放送分

「入れ歯の手入れとブリッジの清掃」

広島市歯科医師会 光山 素夫氏

<https://youtu.be/2Ugy75XRxPE>



11月18日放送分

「がんと口腔ケア」

広島市歯科医師会 岡崎 文彦氏

https://youtu.be/RO_WNGoxAyw



おかげさまで再生回数 10,000 回突破！！

広島市歯科医師会作成「不安な？歯医者」

<https://youtu.be/xnq0YK1MPao>



柔しく剛く

新年互礼会について
熊谷 宏

毎年1月に開催している新年互礼会ですが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、断腸の思いで中止といたしました。

会長就任に際して、互礼会については、会員の親睦に力を入れる方針の元、従前三役対応で行ってききましたが、会員の親睦融和を図り、多くの会員の先生方に参加いただける親睦事業であるとの思いで、厚生部担当事業としました。

昨年は、太鼓ユニット我龍の曲が流れるオープニングの中、書道家 Hiro こと河内裕美さんによる書道パフォーマンスに始まり、鏡開きなど新しいしつらえで、来場の皆様にご満足いただけたものと思っています。ちなみに、河内さんにお書き頂いた、会長方針の「柔しく剛く」は、会長室に飾っておりますので、是非ご覧になってください。

互礼会を開催する上で、執行部として毎年議論してきたのは、ご挨拶を頂く来賓の人数が多く、挨拶が長時間になることへの対応でした。互礼会には、平素お世話になっている来賓の皆様方にお越し頂く対外的意味と、会員同士の新年の互礼の場という対内的意味(親睦)の両方があると思います。

私自身は、政治家の先生方には、連盟活動の中でご挨拶を頂くことが望ましく、歯科医師会の互礼会では、むしろ衛生士会や技工士会といったデンタルファミリーの方々や行政関係で日頃お世話になっている現場の担当者の

方々に大勢お越しいただきご挨拶を頂きたいと思っています。そして何よりも、会員同士の親睦の場であるという強い思いがあります。

しかし、政治家の皆様については、連盟活動の中だと、会員の集客の問題などがあり、特に選挙が開催される年は、その重要性の観点でどうしてもご出席の皆様全員からご挨拶を頂くことが続いていたように思います。

そこで昨年は、思い切って、ご挨拶は甲野峰基県歯会会長と岸田文雄衆議院議員のお二人にいただき、その他の皆様は鏡開きの中でご紹介する形をとり、挨拶の時間を大幅に短縮し、出席者が親睦を図る時間を十分にとる工夫をいたしました。そのせいか、昨年は若い先生方も懇親会の最後まで残っていただき、大いに盛り上がったと思います。

本来なら、今年が厚生部担当の2回目の互礼会となるはずで、厚生部は新しい企画をたくさん練ってくれていました。しかし、中止となり本当に残念でなりません。そこでその代わりにとして、広島市歯科医師会だより新年特別号を厚生部に企画を担当してもらい、広報部とのコラボで作成しお届けしました。

特別号の表紙は、厚生部から「会長、護摩行をやってください！」との依頼がありました。護摩行といえば、広島カーブの新井

貴浩選手が顔を火傷で真っ赤にする苦行のイメージがあるので、大変驚きましたが、「企画は任せろ」といったからには、私も体育会剣道部の出身です。「はい、喜んで」と引き受けることにしました。

コンテンツについて、来賓の皆様方のご挨拶は、まず衛生士会、技工士会の方々を冒頭に掲載させていただきました。ご挨拶を頂きました皆様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、企画として甲野峰基県歯会会長との対談をさせていただきました。年始のお忙しい中、ご足労をいただいた甲野会長に改めて御礼申し上げます。

会員同士の親睦が大きな目的でしたので、年男年女の会員の皆様に近況報告を兼ねた寄稿をお願いしました。24名もの先生からご寄稿いただきました。本当にありがとうございました。

来年こそは、多くの会員の先生方にお集まりいただいて、新しい年を共にお祝いできることを心から祈っております。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2020年12月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2020年12月1日～12月31日)

世界・日本での経過	2020年	広島市歯科医師会での対応
モデルナ、コロナワクチン緊急使用申請へ	12月1日	新型コロナウイルス感染対策啓発ビデオのポスター発送
コロナ感染防ぐ「中和抗体」半年後も体内に(横浜市立大学)	12月2日	
GoTo トラベル利用者、のべ5260万人	12月3日	
大阪で「外出自粛要請」に不安や戸惑いの声	12月4日	
旭川厚生病院221人感染で国内最大のクラスター	12月5日	
イギリスで世界初”ワクチン接種”開始	12月8日	
過去最悪ペース 米での累計感染者1500万人超に 感染者数 世界：62,244,157人 日本：144,653人	12月9日	
新型コロナウイルス重症患者に”血栓症”多発(厚生労働省研究班)	12月10日	感染予防用品の無償配布 「口腔外バキューム整備促進事業」各種申請書提出期限について(案内FAX)
欧州中央銀行”金融緩和をさらに拡大”決定	12月11日	
宿泊療養中の、新型コロナウイルス軽症50代男性が死亡(神奈川)	12月12日	
GoTo 東京と名古屋”一時停止”で調整	12月14日	
新型コロナ感染症対策関係「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」と令和2年度厚生労働省第三次補正予算案を閣議決定	12月15日	広島テレビ取材
塩野義製薬 大手で初”ワクチン”治験開始	12月16日	
米アラスカ州でワクチン接種の医療従事者がアレルギー反応	12月17日	
米・ファイザー 厚労省にワクチン承認申請	12月18日	
WHO「1月に調査団が武漢へ」新型コロナウイルス起源調査のため 感染者数 世界：75,672,798人 日本：193,031人	12月19日	
入院調整中であった自宅待機の陽性者が死亡	12月20日	
英”変異種”拡大、欧州各国との往来一時停止	12月21日	広島市立広島市民病院口腔外科の対応連絡について(周知) 「口腔外バキューム整備促進事業」×切
独ビオンテック「新型コロナウイルスのワクチンは変異種にも有効の可能性」との見解	12月22日	
南極大陸で初のコロナ感染確認	12月23日	
英と南アとは違う種類の新型コロナウイルス変異種をナイジェリアで確認	12月25日	
英国から到着の5人から、コロナウイルス変異種検出国内初	12月26日	
全世界からの外国人の新規入国が原則として停止	12月28日	令和2年度乳幼児健康診査(1歳6か月児健診、3歳児健診)の協力医療機関における個別健康診査(特例)の延長について(案内)
変異株、毒性など大きな変化なしとの見方(WHO)	12月29日	
東京、1300人以上の感染者 初の千人超 感染者数 世界：83,424,430人 日本：234,395人	12月31日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体
※以前のものは前号参照

12月定例理事会報告

「部外報告」

- 1 1 月 2 6 日 歯科医師国保組合理事会
1 1 月 2 7 日 広島ホームテレビとの打合せ
〃 中国新聞動画取材
1 1 月 3 0 日 アトラクトワンとの打合せ
1 2 月 1 日 会員面談(新規個別指導)
1 2 月 3 日 社会保険診療報酬支払基金再審査
1 2 月 1 1 日 歯科医師国保組合理事会
1 2 月 1 4 日 (県)会員面談
1 2 月 1 5 日 故土江健也先生死亡叙位叙勲伝達式
〃 広島テレビ取材
〃 広島県国保連合会歯科再審査部会
1 2 月 1 6 - 2 0 日 広島県国保連合会歯科審査部会
1 2 月 1 6 - 2 2 日 社会保険診療報酬支払基金審査
(合議 22 日)
1 2 月 1 7 日 (県)一時保護施設入所児支援歯科保健
活動会議
1 2 月 2 3 日 広島市教育委員会感謝状受領

(連盟関係)

「総務関係」

- 1 2 月 2 日 (県)甲野会長との対談
1 2 月 1 6 日 (中止)第 5 回支部長・副支部長会
〃 三役会
1 2 月 2 1 日 上期決算報告下期予想
〃 三役会
1 2 月 2 3 日 (中止)退任学校歯科医、学校歯科嘱託医
への感謝状贈呈
〃 定例理事会

(慶弔関係)

- 1 2 月 6 日 中区支部 門前弘美先生ご令室様ご逝去
1 2 月 1 5 日 故土江健也先生死亡叙位叙勲伝達式

(入会退会関係)

(県歯理事会関係)

- 1 2 月 3 日 県歯理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 1 2 月 1 日 休日診療レセプト点検
1 2 月 8 日 定例委員会
1 2 月 1 2 日 (県)保険部常任委員会

(2) 学術部 (花岡理事)

- 1 2 月 1 1 日 定例委員会

(3) 厚生部 (谷理事)

- 1 2 月 2 日 (県)甲野会長との対談

(4) 地域歯科保健部

- 1 2 月 1 8 日 定例委員会

<学校保健> (有馬理事)

- 1 2 月 1 日 広島市学校保健会会報編集委員会
1 2 月 1 0 日 リーフレット小委員会

- 1 2 月 1 2 日 2 歳児フッ素塗布事業
1 2 月 1 3 日 (県)小児歯科レベルアップ研修会
第 2 日目
1 2 月 1 7 日 第 2 回一時保護施設入所児支援歯科
保健活動会議
1 2 月 2 3 日 広島市教育委員会感謝状贈呈式
〃 (中止)退任学校歯科医、学校歯科嘱託医
への感謝状贈呈
・令和 2 年度定期健康診断について
・令和 2 年度広島市立保育園歯科健康
診断について
・令和 2 年度就学時健康診断について
・「学校歯科健診での新型コロナウイルス
感染症対策に関するアンケート」
について
・「第 2 回新型コロナウイルス感染症拡
大下における郡市地区歯科医師会学
校歯科保健の現状把握調査」について

<地域保健> (若林理事)

- 1 1 月 3 0 日 おくちの健康展代替案動画作成協議
1 2 月 4 日 リーフレット小委員会(一般)
1 2 月 9 日 (県)地域保健部常任委員会

<地域連携> (藤田理事)

- 1 1 月 2 6 日 西区介護認定審査会
1 1 月 3 0 日 西区地対協主催出前出張講座
1 2 月 3 日 西区介護認定審査会
1 2 月 1 0 日 西区介護認定審査会
1 2 月 1 5 日 令和 2 年度第 5 回広島市社会福祉審議
会高齢福祉専門分科会(欠席)

(5) 広報部 (水内理事)

- 1 1 月 2 7 日 ホームテレビとの協議
1 2 月 1 日 校正委員会
1 2 月 2 日 (県)甲野会長との対談
1 2 月 7 日 情報調査委員会
1 2 月 1 4 日 FM ちゅーピー収録
1 2 月 1 8 日 情報調査委員会(Web 会議)

FMちゅーピー (新聞掲載)

- 1 月 6 日「歯と歯の間の歯磨き」
広島市歯科医師会
横村 康彦氏
1 月 2 0 日「歯のホワイトニング」
広島市歯科医師会
高橋 由佳氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 2,542 (累計 164,462)
ページビュー 39,005 (累計 755,354)
会員サイト 訪問者 225 (累計 31,280)
ページビュー 1,227 (累計 228,650)
広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 88 件(11/21~12/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 歯科医療安全相談

- 11月27日 相談 インプラントについて (60歳代男性)
- 12月22日 相談 かかりつけ医について (70歳代男性)

「協議事項」

- (1) 会費について (2名)
終身会員資格取得について2名承認。
- (2) カーブ観戦について
日程候補協議、決定
- (3) 会誌「太田川」について
協議継続審議
- (4) その他
なし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hirosshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



お詫び

「広島市歯科医師会だより 新年特別号」におきまして、一部印刷に誤りがありましたので、訂正をお願いいたします。

P.16 年男年女 山崎義之先生

誤) 「備後西域」

正) 「備後西城」

山崎義之先生、会員の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。